

- 平成16年度の事業報告について 常務理事 加藤 洋
- 平成16年度歳入歳出決算書 / 一部負担金割合に係る組合規約変更についての公告
- 国保組合からのお知らせ 「平成17年10月1日から被保険者証がカードになります」他
- 保健だより「品川プリンス アクアスタジアム～旧東海道品川宿散策の旅」

平成16年度の事業報告について



神奈川県薬剤師国民健康保険組合
 常務理事 加藤 洋

平成17年7月29日、神奈川総合薬事保健センターで第92回臨時組合会が開催され①平成16年度の事業報告②歳入歳出決算③決算剰余金処分の議案がそれぞれ承認されました。

歳入歳出決算と決算剰余金処分につきましては、次頁に載せてありますのでそちらをご覧ください。

ここでは平成16年度に実施した事業の概要を報告します。

新規事業としては、ホームページを開設し組合員の異動等に伴う諸手続きの方法や保険給付の詳細さらに健康づくりのための保健事業の案内など、最近の国保情報をご覧いただくことができアクセス件数も順調に増えております。

その他の事業としては、組合の業務を分かりやすく解説した手引き書「国保のしおり」の改訂版を作成し組合員全員に配布しました。

保健事業関係では、人間ドック・節目健診・郵便検診・一般健康診断の疾病予防に力を入れるとともに、スポーツレクリエーション関係では昨年度から始めたウォーキングとして「鎌倉天園コース4km健康ハイク」を実施しました。

また、医療費適正化関係ではレセプト点検はもとより「自家調剤」の点検強化を計るため、職員を始め外部の専門業者にもその業務を委託しました。

適用の適正化関係では、新規加入者等に対して事業所の形態の把握並びに被保険者の適格な資格認定を行い同業務の推進を計りました。

広報関係では「神薬国保」を3回発行し組合員全員に配布しました。

財政状況について歳入面では、国民健康保険料（総収入の52.8%）並びに国庫支出金等（総収入の20%）の財源の確保に努力しました。

特に、医療保険料及び介護保険料につきましては皆様のご協力により本年度も100%の収納率を維持する事ができました。

一方、歳出面ではその大半を占める保険給付費（総支出の54.7%）は対前年比で4.1%の増、老人保健拠出金（総支出の26.7%）は対前年比で16.4%の増、介護納付金（総支出の8.1%）は対前年比で17.8%の支出増になりました。

また、組合の財政力を把握し適正な国庫助成のあり方について検討するため10年ぶりに所得調査が行われ皆様のご協力を得て無事終了しました。

最後になりましたが、第89回通常組合会で議決された事業計画がほぼ達成されたことは皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝しております。

時節がらご自愛くださいますようお願い申し上げます。